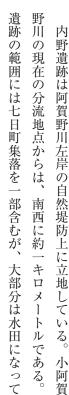
## 内ちから 遺 跡 秋葉区七 Ĭ 町

「新津 |



遺跡の位置 5万分1地形図 13 る。 大部分は水田になって

図39

平成

允

(一九九七)

年、

市道

整備

工事に先立って行

わ

n

た

試

町

線 九 掘

几 調 0) 査 部となっている。 平方メ 13 ょ って発見され、 1 1 j を発 掘 平成 調 査 十年と十一年に新津 た。 調 査部 分は 市 道 市教育委員会が 新町 第七号七  $\overline{\mathbb{H}}$ 計

基 小穴などの遺構が多数見つかっ 11 0 たことか 発 井戸はすべて井戸 掘 調査では、水田 ら小集落 の 一 枠な 面から〇・七~一メー :がない 部だっ 素が掘り た。 た可 りであっ 能性 これらは二 が 高 た。 ŀ 61 か iv な 所に分か の深さで、 お、 見 れ つかった三七 井 て集中して 戸 100 溝

された食膳具や調理具 かでも鎌 倉 室 町 時代 の出 遺 貯蔵具がほとんどで、 物 土品が特に多かった。 は、 平 安時代、 鎌 倉 中国や朝鮮で作られた陶磁器 鎌倉 室 町 時代、 室町 時代 江 戸 の出 時 代 土品は、 0) もの が 国産 日 出 常生 土 0 活に した。 瀬 戸美濃 使用 な



内野遺跡 図40

26



復元された鉄鍋 図41 直径約29センチメー

土品のなかで注目されるものに、 井戸 から 出土 した鉄鍋 がある。 0) 鉄 鍋 は 十五 世紀ごろ

鍋鶭焼

焼

あ 0 た。

陶 磁

器

以

外

では

砥石に

茶やうす

粉

莂

日

曲ば

物。

0)

底

や板

材

柱 分

鉄っ

刀き 子、 珠ヶ洲ヶ

鍛り などが

関

連遺物などが出

土した。

ま

た

食

用

13

解

体され

た

可

能

性

0)

あ 板

る犬

頭

0 材、

出

した。

出 土

る祭祀 され ノの川 は では な 考えら る 0) 羽はに 難 現時 例 もので、 った鉄製品 ij 遺 囲 は てしまうため、 県内 があ ま サ 跡 れ 点での発掘 11 る。 が、 Ź n 無頭に でも ・クル た満 ったことが指摘され 鋳型を使 は おそらく鎌倉時 せず 日花 匹 潰 Ř 回収 調 例 跡 地 羽 ほどが に井 いされ、 越本 遺 区 査結果から った鋳造で製作されてい など古代 iz 跡 線以 は 戸 から出土することは少な へ入れ 溶かされて、 確認され 代 内 北 • 内 中 から室 野 7 0) ・能代川のうだいがわ 世 .野遺 遺 ていることから、 W を Ċ 跡 る。 中 町 13 跡 以 心とした集落 外 時 る。 井 別 0 代 阳 性格を判断すること 0 戸 製品 b 賀 か る。 0) 集 5 中なか 野 落 谷や Ш 鉄 (V) 13 通常 ij 内も 井 で 鍋 と推 遺 小 あ が 内 サ 戸 ó Ź 不要に 跡 阿 出 に 野 たと ・クル 測 賀 遺 関

す す 跡

沖き

野

z

n

る

遺

跡

が

埋

8

n

7